

中学生野球における運動部活動経験評価および運動部活動満足度の構造比較 -中学生の硬式クラブと軟式野球部の関与に注目して-

小山 拓也 (競技スポーツ学科 スポーツビジネスコース)
指導教員 山本 達三

キーワード： チーム選択, 練習環境, 指導環境

1. 緒言

日本では軟式野球と硬式野球が併存しながら発展してきた。軟式野球部の部員は減少傾向であり、甲子園出場選手の多くが硬式クラブ出身であることから、硬式クラブを選択する選手は少なくない。奈良ら(2009)は、軟式野球部より硬式クラブの方が恵まれた環境であると報告している。しかし、満足度を尋ねると練習環境・指導環境に差があるにも関わらず、両者とも90%以上が所属チームに満足している。そこで、本研究では、硬式クラブ員と軟式野球部員の満足度の構造を解明するため、野球に対する関与、部活動満足度、部活動経験評価の関連性と構造を明らかにすることを目的とする。

2. 研究方法

- ・調査対象者：京都・滋賀・大阪の中学軟式野球部員と硬式クラブチーム員を調査対象者とし、それぞれ179票、156票を回収した。
- ・調査内容：基本属性、部活動満足度尺度、部活動経験評価尺度、関与尺度を用いて、アンケート調査を行った。

3. 結果

クラブ満足4項目それぞれを従属変数とし、経験評価の5項目を独立変数とした場合の変数間の関連性に着目すると、軟式野球部では部活動満足4項目すべてに対して「周囲からのサポート」と「努力忍耐」で有意な正の関連性が認められた(表1)。クラブ満足への影響モデル(図1)を見ると

硬式クラブは経験評価からクラブ満足への直接の影響は認められなかったが、経験評価から関与を経由しクラブ満足への影響は認められた。軟式野球部は経験評価から関与を経由しクラブ満足への影響は認められなかったが、経験評価からクラブ満足への直接の影響は認められた。

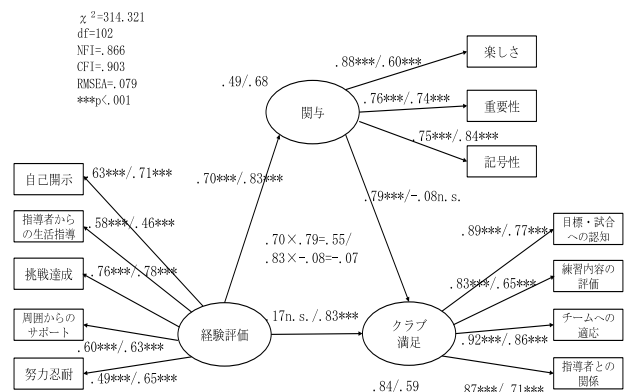


図1. クラブ満足への影響モデル (硬式クラブ/軟式野球部)

4. 考察

重回帰分析の結果(表1)から、硬式クラブでは自己の競技力を向上(挑戦達成)が、クラブ満足に影響していることが考えられるのに対し、軟式野球部では、仲間とつながり(周囲からのサポート)がクラブ満足に影響していると考えられる。

ここでは示さないが、甲子園意識の有無と硬式軟式野球選択の χ^2 乗検定によると、甲子園意識と野球選択には有意な関連性があることが認められた。甲子園を意識した硬式クラブでは、関与が媒介変数となり、甲子園を意識しない軟式野球では関与を媒介しないのは興味深い。軟式野球では経験評価が直接クラブ満足へ影響していることが考えられる。

[参考文献]

松本匡平. (2015) 体育・スポーツ系大学におけるクラブ満足と経験評価-消費者関与に着目して-, びわこ成蹊スポーツ大学卒業論文.

表1. 所属クラブ別のクラブ満足と経験評価の重回帰分析

	目標・試合への認知	練習内容の評価	チームへの適応	指導者との関係
軟式野球部	R (R ²) .589 (.339)*** (.077)	.505 (.241)*** (-.018)	.604 (.357)*** (.040)	.621 (.378)*** (.047)
自己開示	.63***/.71***	.70***/.83***	.79***/-0.08n.s.	.89***/.77***
指導者からの生活指導	.58***/.46***	.70 x .79 = .55 / .83 x -.08 = -.07	.83***/.65***	.92***/.86***
挑戦達成	.76***/.78***	.84/.59	.87***/.71***	
周囲からのサポート	.60***/.63***			
努力忍耐	.49***/.65***			
硬式クラブ	R (R ²) .634 (.393)*** (-.155)	.640 (.396)*** (.069)	.617 (.372)*** (.069)	.621 (.372)*** (-.059)
自己開示	.63***/.71***	.70***/.83***	.79***/-0.08n.s.	.89***/.77***
指導者からの生活指導	.58***/.46***	.70 x .79 = .55 / .83 x -.08 = -.07	.83***/.65***	.92***/.86***
挑戦達成	.76***/.78***	.84/.59	.87***/.71***	
周囲からのサポート	.60***/.63***			
努力忍耐	.49***/.65***			

(標準回帰係数) はステップワイズ法により除去された変数

pp<.05, ***p<.001